

筑波大学WWL(ワールドワイドラーニング)コンソーシアム

グローバル人材育成強化構想概要

開発構想「アジア版エラスムス計画実現に向けた高大接続型ネットワーク構築」

設定したグローバル課題に基づく
連携先とのプログラム開発



当事者性・責任・気候変動・森林・食・農



企業とSDGs

SDGsをテーマにした国際現場研修と
グローバルキャリア選択



世界との共生
コミュニティ構築

アジア・アフリカの地域リーダーとの交流による
地球市民としてのグローバルマインド育成

拠点校における強化事業

オースタムギャップを伴う
2学期制導入

海外校との
協働探究プログラム開発

海外校での
高校生国際セミナーの共催

学びたい場所・探究したい場所・活動したい場所に
自ら羽ばたける人材

世界のあらゆる人と壁無く協働し共生していける人材

共創型グローバル人材
育成を目指す外部連携

SEA-Teacherを
日本の学校へ普及

東南アジア教育大臣機構を通じた
域内の大学・高校とのネットワーク構築



アセアンと日本の高校生
大学生・教員の流動化促進

連携先リソースの
共有による他国展開

海外校と日本の
高校とのハブ

筑波のコアコンピタンスに基づく
AL-NETWORKの形成

SEAMEO共同機関
(Affiliate Member)参画
(国内で唯一)

国際教育実習(SEA-Teacher)の
日本国内で初の実施



管理機関の将来構想

国内における
先取り履修制度の拡充

JV-Campusによる海外連携校も
含めたプログラム提供

アセアン諸国の大学との
先取り履修制度の検討